

全戸回覧・重要

令和2年(2020年)度 第四回 定例役員会 2020年4月4日(土)

< 館長報告 >

館長 土井 承夫 (どいよしお)

<速報～フレイキングニュース～Breaking News～>

令和2年(2020年)3月31日付けで

コミュニティー助成金1,500万円の申請は却下され

福庭は今年度は落選したとの電話連絡がありました。



非常にショッキングな結果ではありますが、この場合の対応も昨年7月28日に開催された福庭自治公民館臨時総会にて取り決め出席者の満場一致で承認されており、すなわち、次の内容です。

- (1) 市からの助成金については、海田東が1年目は不採用で繰越になっており、福庭公民館も外れる可能性もあるが当選の結果に左右されずに館費の値上げはそのまま行うのかとの19班M氏の質問に対して次の様に対応することで決定した。
- (2) すなわち、申請内容は「法人化されたか」「所有権移転は完了したか」「緊急性は」などさまざまな項目があるが必要な準備は整った。優先順位の判断は行政が行うことなので、1年遅れの可能性もあるが、公民館としては最高の準備をするのみである。当選するまで申請を継続していく。
- (3) 公民館費の値上げは規約改正して決定するため、改正すれば来年度からの値上げとなる。つまり、審査が外れても値上げは実施されることになる。よって、当落の結果によっては余剰金としてストックすることもある。また、備品類の準備なども行っていく。なお、助成金の申請結果は来年4月初旬に結果がわかる。

コミュニティー助成事業の審査基準に関する考察

(1)申請に向けて福庭自治公民館が2年前から積み上げてきた事を纏めます。

2年前から毎月私の「館長報告」でお伝えしている様に、この申請作業の手続き過程、すなわち平成31年3月11日付け「地縁による団体に認可」(法人化完了)→令和元年7月19日付け「所有権の移転」完了→令和元年9月11日付け「コミュニティー助成事業申請書」(全57ページ)を期限内早めに提出→その後、倉吉市殿及び鳥取県殿の現地視察実施→余計かも知れませんが、本年2月2日に倉吉市社会福祉協議会主催の自治公民館実践発表で私がこの新築計画を発表した内容が予期もせず翌日の日本海新聞地域総合欄に掲載され、「今秋完成する新・福庭自治公民館は市の助成金を活用した財源で住民負担なく建設される」旨が同紙本社編集部の記事として記載されたので、その関係資料も県と市の方にも送らせて頂きました。(推定40万人が既読)

(2)審査結果(落選)が連絡された翌日の4月1日の倉吉市役所殿より、今回の件につきお話ししたいとの連絡があり、同日14時から新庁舎3階の会議室にて話し合いを行いました。その内容は次の通りです。

(a)出席者：倉吉市役所側 企画産業部 美船 誠 部長

同部地域づくり支援課 笠見 康広 課長

〃 金本 忠継 係長

〃 金光 智志 主事

福庭自治公民館側 館長 土井 承夫

(b)打ち合わせ内容：

1. 倉吉市役所殿のお話・・・従来から倉吉市の採択枠は「1」であり今回は世帯数413の「福庭」とその5分の1である74世帯の「海田東」のどちらを選択するかだった。
2. 市としてもこの選択には長時間の議論と検討を行い回答期限の3月31日まで悩んだ。最終的には従来より「前年度落選したところは必ず翌年には採択する」というやり方をとっており、今回も2年続けて申請した「海田東」を「継続性」の観点と倉吉市が伝統的指針としている「少数に手厚い行政」または「行政の公平性」の視点から採用する決断に至った。
3. 福庭自治公民館の考え方・・・「海田東」殿が前年不採用になられてからは上記「2」の倉吉市採用方針「継続性と前年不採用団体を翌年必ず採用」を凌駕(りょうが)するために「事業効果の広域性」すなわち「支給される助成金の効果や恩恵を広く享受できる団体」つまり「世帯数の最も多い公民館」である事をストロングポイントとして強調した。

もっとくだけた表現で言うと「海田東殿が採用になって 74 世帯が恩恵を受けてもその 5 倍の世帯数 314 が落胆し恩恵を受けない」事態を行政側としてどう考えるのか？今回の審査はまさにその「マイノリティ (少数) の権利とマジョリティ (大多数) の規制 (ルール)」という 100 年前にドイツの社会学者マックス・ウェーバーが著した政治学のバイブル「職業としての政治」(岩波文庫)にある行政の永遠のテーマである。2 年前から市役所殿にはお願いし続けているのだが「前年通り」「前作通り」に物事を進めるのは単にスケジュールをこなしているだけであり、本来の仕事ではない。新しい成果を追及する姿勢がなければ仕事とは言えないと不遜ではあるが敢えて申し上げておいた。

また、余計な事ですすが私は個人的には倉吉市役所殿が好きなので参考までに前述のウェーバーの言葉を申し添えます・・・「政治家にとっては、情熱—責任感—判断力の三つの資質が特に重要であり、政治への献身は情熱からのみ生まれ、情熱によってのみ培 (つちか) われる」(「職業としての政治」より)・・・(この「館長報告」は 2 年前から毎月電子メールで倉吉市長殿と市役所関係者を初め倉吉市に関係する著名な方々約 60 名に同時配信されています)

(c) 福庭自治公民館の今後の方針を申し述べます。

1. 「失敗や逆境は次の飛躍へのステップ」です。「浪人」する事で色々な事を考えたり体験したりしそれが肥やしになります。この失敗を前向きに捉え 1 年遅れますが皆の知恵を出し合って今の構想よりもっともっと素敵な公民館を建てましょう！

もう 1 年くらい工夫すれば今の公民館は使えます。現在、女性部が時々公民館を清掃・整理整頓してくれています。だから前より綺麗になっているのにお気づきになるでしょう。昭和 23 年に建設され 72 年間の長きに亘って福庭を見守ってきてくれた今の公民館が「もうあと 1 年間だけでも使ってごしないなあ・・・さみしいがなあ・・・」と言っているようです。

2 .幸い誰もが困難と思っていた「法人化」と「所有権移転」が完了しています。あとは本年 9 月に前年提出した「コミュニティー助成事業申請書」(全 57 ページ)をアップデート (最新事情に合わせて一部修正する事) します。この作業は執行部で行います。

3 現在 400 万円以上集まっている強制ではない自主的な寄付金の期限はとりあえず現行の本年 11 月末までとしておきます。新公民館の完成は当初予定より丁度 1 年遅れの令和 3 年(2021 年)11 月 30 日となります。新型コロナの影響で 1 年延びたオリンピックと同じ年であり、これはたまたまですが「オリンピックの年に建てる」というお約束はクリアーできます。

4 2年前の平成30年6月の館長報告で過去10年間のこの倉吉市助成事業の採択数推移のデータを示しています。基本的に倉吉市の採用枠は「1」で申請件数は0~2件ですが、2件受けて落ちた1件は必ず翌年受かっています。申請数が1件の時はその公民館が必ず受かっています。前述の打ち合わせで倉吉市の本年募集（令和3年度分）は福庭1件です。こういう公民館の長いスパンの建設で今の時期に話がなければ、もう競争相手は出てきません。また統計上から言っても、今回の市役所殿のお話でも、落ちたところは翌年必ず受かっています。ですから皆さん、1年遅れますが必ず受かります。安心してください。万一落ちた時は私が「腹搔っ捌いてお詫びいたします」その時は今回の会議に出席いただいた市役所の部長さん以下4名の方々もお付き合い頂けると確信しています。

5 海田東自治公民館殿へエール（応援歌）を送りましょう！

最後に私の本音（ほんね）を皆様に申し上げます。今回の海田東殿との競争は本当に辛（つら）かったです。海田東は福庭の隣の町で今でも残っている旧道沿いに家が立ち並んでいます。中学校へも高校へも、雨の日も雪の日も、この海田の家々を観ながらこの旧道を自転車で通いました。だから小中高を共にした同級生やお世話になっている方々が住んでおられます。現在、グラウンドゴルフ等でお会いする人の中には、私の父が若いころ倉吉東中で教鞭をとっていた時代の教え子の方もいらっしゃいます。でも皆さん様に「今回は福庭でええじえ」と仰ってくれました。私は福庭の館長の立場上「住民負担なく建てる第1号」等とあちこちでPRしてきましたが、これはたまたま世帯数が400もあって財源数が多くあったから出来た事であり何も偉そうにする事ではありません。福庭が海田東と同様な少ない世帯数だったら同様に各世帯から10万以上の負担金を戴かなければ公民館は建ちません。2年前の6月に1年早く建てられると聞いて海田東の角真一副館長のご自宅にお邪魔して公民館建設のご指導を頂きました。それが1年目に不採択になられた事で福庭との「身内の争い」の様な事になってしまいました。

それなのに今年6年目の伊藤一行館長から1月の館長会のあとで「私らはこまい部落だけまた落ってもいい。福庭みたいに大きなところが落ちたらえつとの人が困るけ、福庭が取ったらいいよ」と話されました。私は言葉に詰まってしまいました。地区新聞「上井だより」の年頭の上井地区17公民館長の挨拶文にも私が派手に新築の話を書いた一方で、伊藤館長は「公民館新築」とだけ書かれていました。こんな素晴らしいリーダーや住民がいらっしゃる海田東が採択されて本当に良かった！心配なのはコロナの影響で建築コストが上がったり資材が入ってこなかったりして年内に完成しない事です。（年内完成が助成の条件）その辺のところはこの報告を読まれている市役所の関係者の皆様、今から対策を考慮下さい。勝っても負けても甲子園や神宮球場では試合後相手チームへ「エール」を送ります。この辺がスポーツの素晴らしいところです。海田東の皆様、本当におめでとうございました！

以上